

(3) 年 教科【 理 科 】

使用教科書	未来へ広がる サイエンス 3 「啓林館」	
学習の目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を達成するために情報や知識を身に着け、調べることや観察・実験を自ら進んで行う。 ・学習課題に対して自分の意見や考えを持ち、理論的に答えようと取り組む。 ・学習課題の対しての答えを自分の言葉や資料をもとに伝え表現することができる。 ・3年間学習したことをもとに様々な課題の解決に向けて考えることができるようにする。 	
年間の 授業内容	前期	4月 単元1『生命の連続性』 4・5月 1章「生物の成長とふえ方と成長」 5・6月 2章「遺伝の規則性と遺伝子」、3章「生物の種類の多様性と進化」 6月 単元2『宇宙を観る』 6・7月 1章「宇宙と天体」 7月 2章「太陽と恒星の動き」 9月 3章「月と金星の動きと見え方」 10月 単元3『化学変化とイオン』
	後期	10・11月 1章「水溶液とイオン」、2章「電池とイオン」 11月 3章「酸・アルカリと塩」 11月 単元4『運動とエネルギー』 1章「力の合成と分解」 12・1月 2章「物体の運動」、3章「仕事とエネルギー」 1月 4章「多様なエネルギーとその移り変わり」 2月 5章「エネルギー資源とその利用」 単元5『自然と人間』 1章「自然界のつり合い」～5章まで 3月 中学校理科のまとめ 1、2年生のときに学習した内容の復習
特色ある 学習など	理科室では班ごとにまとまって座る。活動場所を確保するため、ゆとりをもって班の場所を決める。ワークは定期テストに向けての学習として計画的に各自で進めていく。	
評価の観点	<div>知識・技能</div> 学んだことを理解して課題にとりくめたか。実験技能を高め、安全に実験に取り組めたか。 <div>思考力・判断力・表現力</div> 実験においての考察で自分の考えをまとめ、文章としてまとめ、説明できる 今までの実験経験を活かし、実験手順を考えることができる。 <div>主体的に学びに取り組む態度</div> 予習や授業で与えられた課題に対し、より知識深めるために自分で調べ学習や、理解しようとする工夫が見える。 学習課題以外について興味を持って学習に取り組めたか。 学習課題について積極的に取り組み、自分の考えをまとめ、発展させることができたか。	
評価の方法	学習への取り組み方、授業中の活動(発言、話し合い、発表、取り組み状況、表現の仕方等)、レポート・ワークシートなどの提出物や課題、ワークの提出、定期テストや小テスト、などで総合的に評価する。	
注意事項	レポート・ワークシート・プリントなどは人数分用意してあるので、欠席した場合、次回に本人が申し出て必ず貰うようにすること。(成績評価への影響があるため)	